

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030072

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・事業期間 平成25年度～平成31年度 ・事業内容 街路灯LED化1灯用279本、2灯用6本 ・総事業費 72,610千円
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	街路灯LED化整備事業	見直し年度	平成27年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	街路灯LED化整備本数		#N/A	
事業目標	街路灯LED化1灯用205本、2灯用6本	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

741		全体計画 事業内容	平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容
計 画 内 容	街路灯LED化整備(211本) 灯具交換(130個)	街路灯LED化整備工事 新日の出町(1灯用29本) 日の出仲町(1灯用19本) 本町(1灯用6本、2灯用3本) 日の出北町(1灯用4本)	街路灯LED化整備工事 幸町(1灯用7本、2灯用3本) 末広町一区(1灯用6本) 新町(1灯用4本) 緑町(1灯用18本) 潮見町(1灯用8本) 宮下町(1灯用20本)	街路灯LED化整備工事 錦町(1灯用24本) 栄町(1灯用22本) 灯具交換(130個) ※補正線越(H28実施)15,600千円			街路灯LED化整備工事 旭町(1灯用18本) 末広町二区(1灯用20本)
	事業費(千円)	54,210	8,430	9,080	27,100	0	9,600
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	54,210	8,430	9,080	27,100	0	9,600
実 績 事 業 費	事業費(千円)	28,458	0	17,172	11,286	0	0
	国庫支出金	8,300		8,300			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	20,158		8,872	11,286			
特定財源の名称			(実施内容等)	(実施内容等) 街路灯LED化 新日の出町24本、日の出仲町19本 日の出北町9本、本町9本 幸町10本、末広町一区6本 新町4本、緑町18本、潮見町8本 宮下町20本	(実施内容等) 街路灯LED化 錦町外 計46本	(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続		年度目標値	LED化1灯用58本、2灯用3本	LED化1灯用63本、2灯用3本	LED化1灯用46本	灯具交換130個	LED化1灯用38本
		年度達成率	0%	189%	42%	#DIV/0!	0%
第6期計画への継続		全体達成率	0%	32%	52%	52%	52%
		備考欄					

事業名	街路灯LED化整備事業	評価者	管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者	作成者 職氏名	管財係主査	宇野敏志

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	街路灯LED化整備本数	
【抱える課題やニーズは】	電気料金の高騰及び灯具の劣化による維持費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	街路灯のLED化による更新	① 街路灯LED化整備本数	目標年度	平成27年度
			目標値	46本
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	電気料金の節減と照明器具の長寿命化	②	実績値	46本
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	LED化工事	LED化工事の実施により、電気料金の節減と照明器具の長寿命化が図られた。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	電気料金の高騰や既存設備の老朽化に対応するため、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		事業の実施により、電気料金の節減や照明器具の長寿命化が期待される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		街路灯の整備は、全町民の安全に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

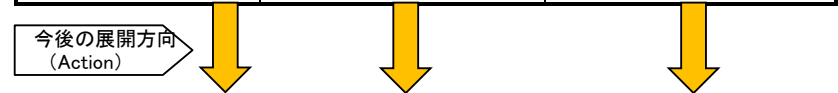
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業執行により、設備維持費の削減が図られるとともに、将来を見据えた電気料金の節減が期待される。		



継続/現状維持		
電気料金や設備維持費の節減を図るためにも、今後も計画どおり事業を継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止